

「学生生活実態調査アンケート(第4回)」の実施結果概要

本学では、学部及び大学院の学生を対象に、学生生活の実態を把握し、今後の修学支援及び学生生活支援等を検討するための基礎資料とすることを目的に、平成17年度より、過去3回(H17、H19、H25)、「学生生活実態調査」を実施してきた。

前回調査より一定期間経過したこと等から、このたび第4回調査を実施した。

1. 調査概要

ア 調査目的

学生の生活環境や学習環境等の現状を把握することにより、今後の修学支援及び学生生活支援等を検討するための基礎資料とする。

イ 調査時期

平成29年4月(平成28年4月～平成29年3月の間の状況を回答)

ウ 調査対象

調査時点(H29.4.1 現在)において、本学に在籍する学部及び大学院の全学生

※ただし、平成29年度入学生を除く

エ 調査方法

無記名のアンケートにより、授業・ゼミ等において調査票を配布

各学生は本学学生支援システム「ユニバーサルパスポート」を利用し、web上で回答

オ 調査項目

【基本事項 8項目】(性別、年齢、所属等)

【質問数 58問】

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. 授業・学習に関する質問 (9問) | 6. 悩み・被害等に関する質問 (6問) |
| 2. 課外活動に関する質問 (8問) | 7. 経済状況等に関する質問 (2問) |
| 3. アルバイトに関する質問 (7問) | 8. 入学に関する質問 (2問) |
| 4. 学内生活に関する質問 (6問) | 9. 進路(進学・就職)に関する質問 (9問) |
| 5. 日常生活に関する質問 (8問) | 10. 自由意見 (1問) |

カ 回答数・回答率

回答数 1,419人(対象者数 4,771人・回答率 29.7%)

2. 調査結果

「学生生活実態調査アンケート実施結果報告」(別添)及び「調査結果概要」(次頁)のとおり

【調査結果概要(各項目の特徴的な結果を抜粋)】

項目	特徴的な内容等 (※経済:経済学部、経営:経営学部、理:理学部、環境:環境人間学部、看:看護学部)	関連頁
授業学習に関する質問	・週5日以上登校する学生は、理 84.5%、看 80.0%、工 79.6%	P. 3
	・授業出席8割以上の学生は、看 100.0%、環境 94.1%、工 90.9%	P. 4
	・週 20 コマ以上受講する学生は、看 46.4%、経済 38.9%、経営 37.7%	P. 5
	・授業を8割以上理解と回答した学生は、環境 56.6%、看 50.7%	P. 6
	一方、5割以上理解できていないと回答した学生は、理 18.8%、経済 18.5%、工 17.7%	P. 7
	(理解できない理由:「勉強意欲や努力が不足している」38.8%、「授業の準備と復習の時間が不足している」33.8%、「授業内容が難しすぎる」25.8%)	
	・授業以外で1日に2時間以上学習する学生は、看 29.0%、理 23.8%、工 22.0%	P. 10
・約 2/3 の学生が、現在のカリキュラムにある程度満足 (「満足」11.0%、「ほぼ満足」55.3%、「不満」5.4%)	P. 12	
課外活動に関する質問	・学生の6割以上が何らかのクラブ・サークル活動等に参加 (「本学体育会系」29.7%、「本学文化会系」18.1%)	P. 16
	・学生の約3割がボランティア・社会(地域)貢献活動等の経験あり (男性 26.7%、女性 34.5%)	P. 20
アルバイトに関する質問	・学生の約9割がアルバイト経験あり (男性 84.9%、女性 93.9%)。	P. 25
	(経験の有無は学部間で異なる(環境 96.7%、経済 96.0%、経営 94.2%、看 91.9%、工 85.8%、理 79.0%))	P. 27
	・アルバイト平均時間が週 20 時間以上の学生は、経営 25.7% と 看 8.8% で3倍近い開き	
・アルバイトで学業や生活に支障を感じることは「睡眠不足」36.8% (「成績に影響」は7.6%)	P. 31	
学内生活に関する質問	・充実してほしい既存施設は「食堂・購買部」65.9%、「学生が集える場所」32.3%、「教室・演習室」26.9%	P. 38
	・学術情報館の改善点は「図書・雑誌の充実」42.3%、「開館時間の延長」26.2%	P. 40
日常生活に関する質問	・休業期間中の過ごし方は、「アルバイト」63.3% に対し「勉強」は 26.1%	P. 43
	・1日のSNS平均利用時間(1日3時間以上)は、環境 18.9% が最も多く、理 7.3% が最も少ない	P. 47
	・参議院議員選挙(H28.7)の投票に行った学生は 53.8%	P. 50
(行かなかった理由:「入学後の転居先に住民票を移していない」38.1%、「忙しくて行く暇がない」33.2%、「政治にあまり関心がない」22.2%)		
悩み被害等に関する質問	・学生生活の悩みは、「卒業後の進路への不安」50.0%、「授業の理解度」20.6%、「経済的な不安」17.3%(「特に悩み等はない」23.6%)	P. 53
	・相談相手は「友人」34.8%、「家族」25.7% (「相談に行ったことがない」41.2%)	P. 55
入学に関する質問	・約8割の学生が、現在の学部・研究科にある程度満足(「満足」23.4%、「ほぼ満足」55.9%、「不満」4.6%)	P. 66
	(満足できない理由:「講義内容等」21.3%、「設備等」20.9%、「他大学に入学しかたかった」12.8%)	P. 67
進路(進学就職)に関する質問	・将来働きたい方面は「民間企業」44.4%、「公務員」18.7%、「有資格の専門職」14.2%	P. 70
	・職業選択時に重視することは「安定した生活が確保できる」47.4%、「十分な収入が得られる」47.2%、「仕事と私生活の両立ができる」37.4%、「自身の知識、能力が生かせる」36.6%	P. 73
	・希望の勤務地は「兵庫県内」26.7%、「京阪神地域」29.7% (「首都圏」5.8%、「地域は問わない」26.0%)	P. 75